18回テスト　基礎編　第１回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ２・３）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①業務をスイコウする。

②注意をカンキする。

③自由をカクトクする。

④不足額をホテンする。

⑤しばらくキンシンする。

⑥宅地をゾウセイする。

⑦トウトツの感は否めない。

⑧理論の正しさをケンショウする。

⑨彼は映画界のキョショウだ。

⑩彼の話はシリメツレツだ。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇次の傍線部の意味として最も適切なものを選びなさい。（各１０点）

⑪失敗の責任を転嫁する。

　ア　迎え入れること。　　　　　イ　所属させること。

　ウ　移して押し付けること。　　エ　取り違えること。

⑫窮屈に四角ばって挨拶をする。

　ア　はにかんだ表情で。　　　イ　緊張で声がうわずって。

　ウ　とげとげしい様子で。　　エ　堅苦しい態度で。

◇次の中から「端的」の類義表現として適切でないものを選びなさい。（１０点）

⑬ア　たなごころを指すように　　イ　迂遠

　ウ　歴然　　エ　直截　　オ　単刀直入

◇次の空欄に漢字一字を入れて、慣用表現を完成させなさい。（１０点）

⑭　　　を漕ぐ……居眠りをすること。

◇次の文の空欄に、適切な語を選んで入れなさい。（２０点）

⑮こうした問題群を一つひとつきちんと説明できなければ、生徒たちに校則が受容されることはない。　　　　、その意味を生徒に納得させる教育の思想が語られなければならない。そうでなければ、校則は生徒管理の手段に堕してしまう。

　ア　逆に言えば　　　　　イ　そのためには

　ウ　しかしおそらくは　　エ　それどころか

　オ　一般的に見れば

18回テスト　基礎編　第２回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ４・５）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①参加を促す。

②財政が破綻する。

③寒さが緩む。

④軍隊がショウトツする。

⑤前例をトウシュウする。

⑥セイエイを集めたチーム。

⑦障害物をジョキョする。

⑧入学をケイキに引っ越す。

⑨観客席がキュウコウバイだ。

⑩四大文明のハッショウ地。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇次の傍線部の意味として最も適切なものを選びなさい。（１０点）

⑪大過なく職務を遂行する。

　ア　目立った間違い。　　イ　遠い昔のこと。

　ウ　大まかな原則。　　　エ　対立する意見。

　オ　大きな違い。

◇次の語と意味の近いものとして最も適切なものを選びなさい。（１０点）

⑫終始一貫

　ア　不即不離　　イ　臨機応変　　ウ　徹頭徹尾

　エ　完全無欠　　オ　初志貫徹

◇次の説明に当てはまるものを選びなさい（各１０点）

⑬『蜻蛉日記』と同じジャンルの作品。

　ア　日本書紀　　イ　和泉式部集　　ウ　方丈記

　エ　とはずがたり　　オ　義経記

⑭ノーベル文学賞受賞者の作品。

　ア　春の雪　　イ　砂の女　　ウ　細雪

　エ　砂の器　　オ　雪国

⑮夏目漱石の作品でないはないもの。

　ア　道草　　イ　行人　　ウ　浮雲

　エ　明暗　　オ　草枕

18回テスト　基礎編　第３回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ６・７）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①自慢話を聞かされ辟易する。

②自宅でのんびりと寛ぐ。

③これはフキュウの名作だ。

④イサイ承知いたしました。

⑤和平のコウショウが成立する。

⑥ヒンパンに電話をかける。

⑦資源の浪費にケイショウを鳴らす。

⑧人の先頭に立ってモハンを示す。

⑨ハクブンキョウキの頼れる友人。

⑩リロセイゼンとした演説だ。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇次の語の類義語として最も適切なものを選びなさい。（各１０点）

⑪否応なく

　ア　如才なく　　　　イ　ことなく

　ウ　せんかたなく　　エ　滞りなく

　オ　支障なく

⑫翼賛する

　ア　誇張する　　イ　索引する

　ウ　努力する　　エ　支援する

　オ　承認する

◇次に示す月の異名を漢字で書きなさい。（各１０点）

⑬九月

⑭七月

⑮十月

18回テスト　基礎編　第４回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ８・９）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①巷の声に耳を傾ける。

②体裁を取り繕う。

③滅多にない代物だ。

④世界一をヒョウボウする企業。

⑤欠席者はカイムだった。

⑥資料をセイサする。

⑦確たるソテイをともなう領域だ。

⑧イロウのないよう気をつける。

⑨シサに富んだ話。

⑩開会式で選手センセイする。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇次の空欄に漢数字を入れて四字熟語を完成させなさい。（各１０点）

⑪　変　化

◇次の傍線部の意味として適切なものを選択肢から一つずつ選びなさい。（各１０点）

⑫なほわりなく恋しうのみおぼえければ、

⑬つとめて主殿司の見るに、

⑭大殿には騒ぎ満ちてののしる。

ア　次第に　　イ　こっそりと　　ウ　朝早く

エ　どうしようもなく　　オ　かえって

カ　嘆き悲しむ　　キ　大騒ぎになる

18回テスト　基礎編　第５回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ10・11）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①郷土芸能をデンショウする。

②産地をギソウする。

③責任をカイヒする。

④ボウショウを固める。

⑤ワイロを受け取る。

⑥国家のイシンにかかわる。

⑦恩恵をキョウジュする。

⑧授業内容に興味シンシンだ。

⑨ボウダイな量の書物。

⑩大きなハンキョウを呼ぶ。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇「場合により必要に応じて見事に使い分ける」という意味の成句を選びなさい。（１０点）

⑪ア　風が吹けば桶屋が儲かる

　イ　自家薬籠中の物

　ウ　船頭多くして船山に登る

　エ　魚心あれば水心

◇「うち払ふ塵のみ積もるさ筵も嘆く数にはしかじとぞ思ふ」の歌の中で用いられている技法を選びなさい。（２０点）

⑫ア　折句　　イ　序詞　　ウ　掛詞

　エ　枕詞　　オ　体言止め

◇「かはづ鳴く井手の山吹散りにけり花のさかりにあはましものを」の歌の種類を選びなさい。（２０点）

⑬ア　春の歌　　イ　秋の歌　　ウ　賀の歌

　エ　恋の歌　　オ　哀傷の歌

18回テスト　基礎編　第６回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ12・13）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①道徳心が欠如している。

②法に基づいて制裁する。

③相手の態度を是認する。

④効果が如実にあらわれる。

⑤疾病の予防を心がける。

⑥同じ結論にトウタツする。

⑦栄養をセッシュする。

⑧ユウズウのきかない石頭。

⑨何事にも辛抱がカンヨウだ。

⑩開発計画のヘイガイを質す。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇「高低」と熟語の構成が同じものを選びなさい。（１０点）

⑪ア　租税　　イ　添削　　ウ　苦衷　　エ　検疫　　オ　脱帽

◇次の空欄に当てはまる漢字をそれぞれ答えなさい。（各１０点）

⑫難事件が快　乱　を断つごとく解決された。

◇次の空欄に同じ字が入らない慣用句の組み合わせを選び、それぞれの空欄に当てはまる最も適切な漢字を答えなさい。（各１０点）

⑬　　Ａ　　 ― 　　Ｂ

　　を食う 　― 　をふかせる

　　をさす 　― 　に流す

　　が鳴る 　― 　に覚えがある

　　を上げる ― 　も葉もない

　　が立つ 　― 　が引ける

18回テスト　基礎編　第７回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ14・15）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①弱点をシテキされる。

②選手の士気をコブする。

③戦争のキョウイにさらされる。

④証言にフシンな点が多い。

⑤私は面くらいシュウチさえ覚えた。

⑥砂漠にコウリョウとした風景が広がる。

⑦恵まれたキョウグウに育つ。

⑧グウハツ的な事故にあう。

⑨リンリにもとる行為。

⑩封筒に切手をハる。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇「竜巻」と読み方の音・訓の組み合わせが同じ語を選びなさい。（１０点）

⑪ア　言葉　　イ　台風　　ウ　時間　　エ　磁石

◇「とりもなおさず」の意味を選びなさい。（１０点）

⑫ア　それがそのまま　　　イ　とりあえずは

　ウ　考えるまでもなく　　エ　それには及ばず

◇次の四字熟語の空欄に当てはまる数字を全て足した数を選びなさい（１０点）

⑬　里霧中　　三拝　拝　　　衣帯水

　ア　十三　　イ　十五　　ウ　十八　　エ　二十　　オ　二十三

◇詩歌の冒頭と作者・編者の組み合わせが正しくないものを選びなさい（１０点）

⑭ア　国破在山河　城春草木深―杜甫

　イ　石見のや高角山の木の間より―山上憶良

　ウ　遊びをせんとや生まれけむ―後白河法皇

　エ　野ざらしを心に風の―松尾芭蕉

　オ　雨ニモ負ケズ　風ニモ負ケズ―宮沢賢治

◇『蟹工船』の作者を選びなさい。（１０点）

⑮ア　小林多喜二　　イ　太宰治　　ウ　芥川龍之介

　エ　森鷗外　　　　オ　山本有三

18回テスト　基礎編　第８回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ16・17）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①人心を掌握する。

②美の権化。

③口伝によって芸を受け継ぐ。

④追悼の意を表す。

⑤会期をエンチョウする。

⑥センボウのまなざしで見る。

⑦あの場所は非行のオンショウだ。

⑧イシャ料をはらう。

⑨私のイチゾンでは決めかねる。

⑩部品をハソンする。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇熟語の組み合わせが対義語でないものを選びなさい。（１０点）

⑪ア　解雇 ― 採用　　イ　演繹 ― 帰納　　ウ　胎生 ― 顕在

　エ　不易 ― 流行　　オ　饒舌 ― 寡黙

◇傍線部の語の使い方が他と異なるものを選びなさい。（１０点）

⑫ア　一番安いのを見つけて下さい。

　イ　これが先生の教えてくれた本です。

　ウ　父は写真を撮るのが好きです。

　エ　入学式で着ていたのはこの服です。

◇次の各文の傍線部の文法的説明を選択肢から一つずつ選びなさい。（各１０点）

⑬丈に四寸ばかりぞ足らぬ。

⑭むげに、現心もなくなりぬるにや。

⑮教へ給ふことはうれしけれども、

　ア　完了の助動詞「ぬ」の連用形

　イ　断定の助動詞「なり」の連用形

　ウ　過去の助動詞「けり」の已然形

　エ　打消の助動詞「ず」の連体形

　オ　形容動詞の連体形活用語尾

　カ　形容詞の已然形活用語尾

18回テスト　基礎編　第９回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ18・19）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①仏頂面をして考え込む。

②紫陽花の苗を植える。

③会議は粛々と進められた。

④体制に与する。

⑤開発計画をシュクゲンする。

⑥生命のキゲンを探る。

⑦世界にヒヤクする。

⑧思わぬヤクトクがある。

⑨テンジュを全うする。

⑩オリンピックによるトクジュ。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇次の四字熟語の空欄に入る漢字を選びなさい。（１０点）

⑪周章　狽

　ア　馬　　イ　狼　　ウ　羊　　エ　虎

◇次の古語の読みを現代仮名遣いで答えなさい。（各１０点）

⑫大臣

⑬去年

◇次の傍線部の意味として適切なものを選びなさい。（各１０点）

⑭四つにて別れにし若君おとなしくなりて、髪生ひ伸び、肩の周りうち過ぎて、

　ア　緊張して動けなくなって、

　イ　貴族らしい温和な性格になって、

　ウ　すねてしまって無口になって、

　エ　身なりの立派な成人になって、

　オ　年齢のわりには分別がついていて、

⑮すべて、余りになりぬる人の、そのままにて侍る例、ありがたきわざにこそあめれ。

　ア　すばらしいことであるという。

　イ　うらやましいことであるだろう。

　ウ　かたじけないことであるらしい。

　エ　めったにないことであるようだ。

　オ　つまらないことであるそうだ。

18回テスト　基礎編　第10回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ20・21）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①通行の妨げになる。

②紆余曲折を経た結論。

③干潟に棲む生き物。

④予算をサクゲンする。

⑤波のまにまにタダヨう。

⑥死亡率のネンジ推移グラフ。

⑦時間にコウソクされる。

⑧効果がケンチョに現れる。

⑨資本家によるサクシュ。

⑩食費のケンヤク。

◎次の各設問に答えなさい。（５０点）

◇傍線部の品詞が他とは異なるものを選びなさい（１０点）

⑪ア　もっと言ってほしい。　　イ　成績がぐんぐん伸びる。

　ウ　細かく震える。　　　　　エ　全然動きがない。

　オ　なぜそう思うの。

◇次の傍線部の敬語表現のうち、正しいものは○、誤っているものは適切な形に直しなさい。（各１０点）

⑫先生がご心配していました。

⑬係員がお越しになるまで、こちらでお待ち下さい。

⑭先生も給食を召し上がります。

⑮ご気分がすぐれない方は、係員に申し出て下さい。

18回テスト　演習編　第11回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ22～25）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①株価の急落に狼狽する。

②妙な噂が流布する。

③カクウの生き物。

④今さらコウカイしても始まらない。

⑤干ばつでジンダイな被害を受ける。

⑥戦乱で町がスイビする。

◎次の各設問に答えなさい。（各１０点）

◇次の言葉の意味で、適切なほうを選びなさい。

⑦怜悧な……ア　かしこく利発な

　　　　　　イ　冷ややかな

⑧隘路　……ア　新たに通じる道

　　　　　　イ　狭くて通りにくい道

◇次の古語の意味で、適切なほうを選びなさい。

⑨案内　　……ア　詳しく説明すること

　　　　　　　イ　事情を尋ねること

⑩すずろに……ア　本当に

　　　　　　　イ　わけもなく

⑪乾の方　……ア　北東

　　　　　　　イ　北西

◇次の説明に当てはまるものを選択肢から選びなさい。

⑫日本最古の勅撰和歌集。

　ア　小倉百人一首　　イ　万葉集

　ウ　古今和歌集　　　エ　千載和歌集

⑬幸田露伴の作品。

　ア　三四郎　　イ　高瀬舟

　ウ　高野聖　　エ　五重塔

18回テスト　演習編　第12回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ26～29）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①早起きをショウレイする。

②問題点がケンザイ化する。

③欲望をセイギョする。

④損得カンジョウで行動する。

⑤コンカンをなす重要な原理。

⑥電車の遅延がジョウタイ化する。

◎次の各設問に答えなさい。（⑦～⑪各１０点、⑫２０点）

◇次の言葉の意味に近いほうを選びなさい。

⑦突飛な　……ア　奇抜な

　　　　　　　イ　性急な

⑧同工異曲……ア　似ている

　　　　　　　イ　ずれている

◇次の傍線部の中から接続詞を選びなさい。

⑨ア　柔道の試合に出る。もちろん、優勝するつもりだ。

　イ　邪魔が入った。したがって、予定通りに進まなかった。

　ウ　勉強するのは嫌いではない。むしろ好きだ。

◇次の文の空欄に入る反語の意を表す表現を選びなさい。

⑩隈もなき月になりゆくながめにもなほ忘れ　　　する。

　ア　こそ　　イ　やは　　ウ　なむ　　エ　のみ

◇次の傍線部の文法的説明として適切なものを選びなさい。

⑪おほせたまふ

　ア　過去の助動詞の未然形

　イ　尊敬の助動詞の連用形

　ウ　下二段動詞の連用形の活用語尾

　エ　使役の助動詞の連用形

◇日記文学の成立年代順に並んでいるものを選びなさい。

⑫ア　『更級日記』『十六夜日記』『土佐日記』

　イ　『更級日記』『土佐日記』『十六夜日記』

　ウ　『土佐日記』『十六夜日記』『更級日記』

　エ　『土佐日記』『更級日記』『十六夜日記』

18回テスト　演習編　第13回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ30～33）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①損得を相殺する。

②秘密を暴露する。

③政治とメディアの癒着。

④観光名所をモウラする。

⑤責任をテンカする。

⑥ゲキヤクを扱う。

◎次の各設問に答えなさい。（各１０点）

◇次の各文の空欄に入る適当な漢字一字を書きなさい。

⑦捲土　来を期して日々努力する。

⑧傍若無人な彼の態度は　に余るものがある。

⑨不遜な発言に堪忍袋の　が切れた。

◇次の傍線部の語を文法的に説明しなさい。

⑩なほしばし身を去りなむと思ひ立ちて、

⑪見る人の招くなるらむ花すすきわが袖ぞとはいはぬものから

◇次の傍線部の意味を口語で答えなさい。

⑫情けもなほざりならずおぼえしかば、

◇『新古今和歌集』が成立した時代とその撰者の正しい組み合わせを選びなさい。

⑬ア　奈良・大伴家持

　イ　平安・紀貫之

　ウ　平安・藤原俊成

　エ　鎌倉・藤原定家

18回テスト　演習編　第14回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ34～37）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①封建制度が瓦解した。

②感興の赴くままに筆を走らせる。

③精巧な細工を施す。

④カイシンの笑みを浮かべる。

⑤ニンイの地点を選ぶ。

⑥書類に必要事項をキサイする。

◎次の各設問に答えなさい。（各１０点）

◇「役目」と読み方の音・訓の組み合わせが同じ語を選びなさい。

⑦ア　手本　　イ　試合　　ウ　駅弁　　エ　立場

◇次の言葉の意味で、適切なほうを選びなさい。

⑧機微…………………ア　ものに接して感動した時の深い趣。

　　　　　　　　　　イ　表面からは察しにくい心の動きや物事の趣。

⑨ステレオタイプ……ア　ひな型

　　　　　　　　　　イ　紋切型

⑩針小棒大……………ア　ささいなことを大袈裟にすること。

　　　　　　　　　　イ　だいたい同じで、細かい点に違いがあること。

◇次の傍線部の意味を口語で答えなさい。

⑪さすがにまめやかにも思ひ立たず。

⑫玉淵はいとらうありて、歌などよくよみき。

◇次の説明に当てはまる作家を選びなさい。

⑬横光利一と共に新感覚派の作家として注目され、代表作に『古都』がある。

　ア　芥川龍之介

　イ　志賀直哉

　ウ　中島敦

　エ　川端康成

18回テスト　演習編　第15回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ38～41）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①言葉を紡ぐ。

②外に出た途端に雨が降り出した。

③会議がフンキュウする。

④条約をヒジュンする。

⑤ハイリョに欠ける行い。

⑥敵のヨウサイを攻撃する。

◎次の各設問に答えなさい。（各１０点）

◇次の傍線部の意味として、適切なものを選びなさい。

⑦それは恣意的な判断だ。

　ア　効果や利益のみを重視するさま　　イ　他と折り合いをつけるさま

　ウ　論理的な必然性がないさま

⑧近年とみに関心が高まっている問題。

　ア　にわかに　　イ　わずかに　　ウ　ゆるやかに

◇次の各文の傍線部の動詞の活用の種類を選択肢から一つずつ選びなさい。

⑨まかりすぎ侍るなり。

⑩あやしの身には得がたき物にて、

⑪いとあはれに覚えて、

　ア　ア行四段活用　　イ　ワ行下二段活用

　ウ　ラ行四段活用　　エ　ヤ行下二段活用

　オ　ラ行変格活用　　カ　ア行下二段活用

◇次の各文の空欄に入る適切なものを選びなさい。

⑫こち　　　といひて、文をとりて見れば、

　ア　　　イ　　　ウ　　　エ　る　　オ　れ

⑬この中にさりともとこそ思ひ　　　。

　ア　せ　　イ　き　　ウ　し　　エ　しか　　オ　しかれ

18回テスト　演習編　第16回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ42～47）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①産業がスイビする。

②疲労がチクセキする。

③人類のフヘン的価値観。

④親の愛にカワいた子ども。

⑤精神のジュウソクを求める。

⑥ソウカンする二つの現象。

◎次の各設問に答えなさい。（各１０点）

◇次の空欄に適切な語を選んで入れなさい。

⑦言いにくいことを黙っているよりも、　　　言うほうがためになることがある。

　ア　あえて　　イ　決して　　ウ　まったく　　エ　なぜなら

◇次の傍線部の意味を口語で答えなさい。

⑧堂どもあらまほしげなり。

⑨まめやかなる事どもあはれみ沙汰しければ、

⑩その日の夜さり、聞こゆべきことなむある。

◇次の各文の空欄に入る適切なものを選びなさい。

⑪（「雨が降るといけないから」の意になるように）

　「門よくさしてよ。雨　　　降る」

　ア　こそ　　イ　やは　　ウ　もぞ　　エ　さへ

⑫人の善をもいふべからず。いはむや、その悪　　　。

　ア　をや　　イ　など　　ウ　にぞ　　エ　すら

⑬これ　　　称美のかひありと聞こゆれ。

　ア　もぞ　　イ　なむ　　ウ　やは　　エ　こそ

18回テスト　演習編　第17回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ48～53）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①弱い相手と侮る。

②将来を嘱望されている。

③川の両岸をつなぐカキョウ工事。

④ケンビキョウで観察する。

⑤センレンされたデザイン。

⑥辞書のカンシュウを依頼する。

◎次の各設問に答えなさい。（各１０点）

◇次の空欄に共通して入る身体の一部を表す漢字一字を書きなさい。

⑦　放しの賞賛をおくる。

　　厳しく非難される。

◇次の傍線部の語を文法的に説明しなさい。

⑧常にしければ、そのにやありけむ、

　ア　完了の助動詞「ぬ」の連用形　　イ　接続助詞

　ウ　格助詞　　エ　断定の助動詞「なり」の連用形

◇次の傍線部を現代語訳しなさい。

⑨いかに心もとなく思すらむ。

⑩あからさまに思ひしほどに、この宿に一両年住み侍り。

⑪帰りなまほしきこと出で来て

◇次の説明に当てはまる作品を選びなさい。

⑫宮沢賢治の作品。

　ア　ヴィヨンの妻　　イ　ノルウェイの森

　ウ　暗夜行路　　　　エ　注文の多い料理店

⑬『源氏物語』以降に成立した作品。

　ア　伊勢物語　　イ　落窪物語

　ウ　狭衣物語　　エ　大和物語

18回テスト　演習編　第18回　関東私大国語基礎知識実戦問題（Ｐ54～59）

氏名　　　　　　　　　年　　組　　番　　　　　　　　　　　　／１００点

◎次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。（各５点）

①過酷な運命に抗う。

②奔流にのまれる。

③先輩のキゲンを損ねる。

④ゴンゴドウダンな行い。

⑤シマツに負えない。

⑥リンカイ状態に達する。

◎次の各設問に答えなさい。（各１０点）

◇次の四字熟語うち正しいものは○、誤っているものは適切な形に直しなさい。

⑦直上径行

⑧不和雷同

⑨青天白日

◇傍線部が連用形でないものを選びなさい。

⑩ア　旅行は楽しかった。　　イ　修理が簡単でよかった。

　ウ　起きて歯をみがく。　　エ　あの人はきっと元気だろう。

◇次の傍線部の語を文法的に説明しなさい。

⑪あだ心つきなば、のち悔しき事もあるべきを、

◇次の『万葉集』の歌の季節を選びなさい。

⑫一年に七夕のみ逢ふ人の恋も過ぎねば夜は更けゆくも

　ア　春　　イ　夏　　ウ　秋　　エ　冬

◇作者と作品の組み合わせが正しいものを選びなさい。

⑬ア　樋口一葉『砂の女』

　イ　泉鏡花　『山の音』

　ウ　井伏鱒二『山椒魚』

　エ　川端康成『高野聖』